

太陽光発電システムで躍進

時代の流れ

無資源国の日本はオイルショックを経て、1970年代から太陽光発電の開発、普及に力を入れ、2000年半ばごろまで世界一の生産量を誇っていました。その後、世界市場でのシェアは減りましたが、最近、自然再生エネルギーが見直され、とりわけ太陽光発電が急進しています。最近の状況を教えてください。

秋田 昨年あたりから国内の太陽光発電が活況となってきました。05年からスタートして補助金制度が09年1月から再開。また、同年11月には電力会社による余剰電力の固定価格買取制度がスタート、価格も従来の2倍の48円(1kwh)に引き上げられたことが太陽光発電の普及へ拍車をかけていると思います。

政府は再生可能エネルギーの中でも太陽光発電が特に潜在的能力が高いので、エネルギー自給率の低い我が国にとって、重要な位置づけとなつてはいます。

ご存知のように政府は08年7月の閣議決定で「低炭素社会づくり行動計画」を打ち出しました。その中で①太陽光発電の導入量を20年に10倍、30年に40倍にする、②3・5年後に太陽光発電システムの価格を現在の半額程度にする、③等々を目標としました。このような方向性に基づき経済産業省は関係省庁と連携、「太陽光発電の導入拡大のためのアクションプラン」をとりまとめました。

政府の普及政策により、有望市場を取り込むために、国内外のメーカーが競うように太陽光発電分野に参入しています。折しも世界同時不況の影響で既存の産業が伸び悩んでいる中で脚光を浴びているものと思われ、台風や地震災害の多い我が国ではエネルギーも地産地消の考え方が台頭して、個人住宅を中心に拡大して見えています。

一般住宅用の太陽光発電の販売が始まった1993年は年間約1000世帯でしたが、2011年には累計1000万世帯を超える見込みとされています。今後、太陽光発電は政府の補助金制度の導入、エネルギー再生法案の成立などが追い風となり、市場は15年には1兆円が見込まれています。

太陽光発電システム

秋田 今後、電力不足が深刻化する中、太陽光発電は二酸化炭素を排出することもなく、維持費もほとんどかかりません。全国的に大規模な太陽光発電所の建設も始まっています。電力料金的大幅な値上げも予想される中、一般家庭でも家計と環境にやさしい太陽

秋田新太郎
エステート24ホールディングス(株) 代表取締役社長



光発電システムの導入を検討する家庭が増えていきます。まず、そのシステムについて教えてください。

秋田 地球に降り注ぐ太陽光のエネルギーは1㎡あたり約1kwhといわれ、もしもそれを全量、電気に変換できれば世界の年間消費エネルギーを1時間でまかなうことができるほど巨大なエネルギーで、枯渇する心配がありません。

そのエネルギーを利用する太陽光発電は、「太陽電池」「ソーラーパネル」と呼ばれる装置を用いて、太陽のエネルギーを直接電気に変換する発電方式です。住宅用の太陽光発電システムは、太陽のエネルギーを受けて太陽電池が発電した直流電力をパワーコンディショナにより電力会社と同じ交流電力に変換し、家庭内のさまざまな家電製品に電気を供給します。

一般の系統連系方式の太陽光発電システムでは電力会社の配電線とつながっていますので、太陽光発電システムによる発電電力が消費電力を上回った場合は、電力会社が逆に送電(逆潮流)して電気を買い取ってもらうことができます。反対に、曇りや雨の日など発電した電力では足りない時や夜間などは、従来通り電力会社の電気を使います。なお、こうした電気のやりとりは自動的に行われますので、日常の操作は一切不要です。

システムは太陽電池モジュール、接続箱、パワーコンディショナ、分電盤で構成されています。太陽電池モジュールはいわば心臓部で、単結晶シリコン、多結晶シリコンなど効率、価格によって分類されています。結晶シリコンそのものの寿命は半永久的ですが、周辺部材の寿命は異なります。結晶シリコンは自然の産物ですから廃棄物処理にも困らないのです。もう少し詳しく説明しますと、

太陽電池モジュール
太陽の光エネルギーを直接電気に変換する装置(パネル)
接続箱
太陽電池からの直流配線を一本にまとめ、パワーコンディショナに送るための装置。太陽電池の点検、保守などに使用する開閉器や避雷素子、電気が太陽電池に逆流しない防止素子も内蔵している。

パワーコンディショナ
太陽電池で発電した直流電力を家庭用の交流電力に変換するための装置
分電盤
パワーコンディショナから送られた電力を家の配線で電気を各電化製品に分ける装置。商用電力系統との連携点となる。

電力計
電力会社に売った電力や、購入した電力を計量するメーター。売電用と買電用の2つの電力計が必要となり、電力会社が設置する。

太陽光発電システムでつくられた電力

は家庭の電化製品に使え、地球温暖化の原因でもある二酸化炭素の排出量を抑えることができます。発電した電力を使うことで、電力料金の高い日中の電力消費を抑え、効率よく電化製品を節約できます。発電時には、騒音も排出物ありませんので、近所の方々にも迷惑がからず、安心して快適に利用できるシステムです。

顧客満足度100%を目指して

秋田 業界の競争が激しさを増す中で、弊社は高い顧客満足度を維持し、長期的な成長を目指して取り組んでいます。長い目でトータルに判断していただければ価値があるかどうか、納得していただけるように努めています。社員は、それぞれ独創性をもっており、現場のお客様の声を聞いて、いろいろな提案ができる会社です。お客様の声に敏感に耳を傾け、お客様の至上主義の経営を実践することで、変わりゆく社会のニーズに適応した新たな価値の創造に取り組んでいます。お客様も満足と感動を追求していきなす。お客様の顧客になることがいろいろな意味でプラスになると確信しています。

弊社はオール電化の商材(電気給湯器、電気調理器など)や太陽光発電機器の販売を目的に設立し、「事業を通じて社会に貢献する」「お客様と目新しい価値を創造する」「コンプライアンス(法令遵守)の徹底」を経営理念に掲げ、めざましい勢いで業績を伸ばしています。

特にコンプライアンスを社内に置いておくことでおまかせいただけるように、コンプライアンスを重要視してルールを守ることを徹底して、お客様からの信頼を得ています。

現在、国内メーカー18社、海外メーカー8社の全製品を扱っています。お客様の希望する製品にすべて対応できます。さらに韓国大手メーカー、ハンファにOEM(ワイルドソーラー)ブランドで発注していますので、国内では弊社のみが扱える製品です。従来、方位の異なる屋根への取り付けには制約がありましたが、この制約を解消して発電能力を高めたのがソーラーマジックと呼ぶ太陽電池モジュール施工です。

自社内に工事部門を保有しており、設置から定期点検まで行っています。販売した顧客の会員化を図りアフターサービスの充実に取り組みしています。

特に力を入れていますのが保証制度の充実によってお客様に安心を与えていることです。太陽光発電では日照時間を確保できないのではないかと心配されて導入に踏み切れない方も多いため、ある

いは太陽光パネルを設置する時に、瓦が破損したり、設置後に雨漏りがしたり、家屋や家財等の損害ばかりではなく、パネルの落下で運送中のお客様の身体に被害が及んだ場合などの補償は高額に上ります。

そのため業界大手メーカーのウエストホールディングス(上場企業)と提携していることで東京海上日動火災の保証制度を利用できるのです。まず、モジュールは25年間、出力を保証します。発電量が規定値に達しない場合、モジュールの修理・交換などにより、不足した電力を補償します。周辺機器は10年間の保証です。次に業界の先駆けとなる「ソーラーランテイ」(有償)によって、日照時間と工事保証をカバーしています。これは気象庁のデータを基に都道府県ごとに基準値を設け、1年間30時間以上不足した場合、1時間につき1000円を最大500時間まで補償するものです。工事保証は施工時の屋根瓦等の損傷や施工後の雨漏りによる家財の損傷、さらにはパネル落下による人身を害したり、建物、車等の損壊の保証とともに、太陽光発電システムそのものが損壊した場合にも保証するというものです。

関心を持たれたら営業が訪問、さらに工務が詳細に説明し、各金融機関との提携で頭金などの初期費用が0円で契約できる仕組みを取っています。太陽光発電で電気を使わない時は蓄電システムに蓄えて、必要に応じて使う、また不時の停電にも対応できます。余った電気は電力会社が買い取ってくれます。今後、電気自動車の普及に伴いその充電にも供するなど、リレーションマーケットは拡大を続けます。

販売エリアは九州、四国、中国、近畿、中部の地域ですが、現在、関東地方の拡販に力を入れています。さらに今後、東北、北海道、沖縄へと全国展開をします。また2012年から3年間の決算監査を受けて株式を上場する予定です。太陽光発電は急拡大をしています。このためシリコンモジュールの品不足を招き、購入希望者の設置待ちも起こっています。弊社は品不足が生じないように、現金買付けを行い、太陽光発電機器の在庫を大量に持つことも視野に入れています。またOEMブランドが定着してきましたら、独自の生産工場を持つことも夢ではありません。

このように市場環境は良好ですので、毎月、300棟設置へと事業拡大を図りながら人材の育成にも力を入れています。企業は何となくとも人、社員が宝です。立派な人材を育てることによって「事業を通じて社会に貢献する」という我が社の理念を達成したい。

秋田 これほどまでに会社を育てられた手腕は大変なものです。これからも頑張ってください。期待しています。

秋田 ありがとうございます。

広告

エステート24ホールディングス株式会社
〒541-0057
大阪市中央区北久宝寺2-5-9
飛栄創建ビル8F
http://www.estate24group.com

太陽光発電システム設備の販売・施工 ■国内18メーカー・海外8メーカー取扱い



- 1 太陽電池モジュール**
太陽の光から電気をつくる
太陽光のエネルギーを電気エネルギー(直流電力)に変換します。
138,600円(税込)
※希望小売価格
- 2 接続箱**
発電した電気をパワーコンディショナに送る
モジュールから配線されている複数のケーブルをまとめてパワーコンディショナに接続します。
33,075円(税込)
※希望小売価格
- 3 パワーコンディショナ**
直流電力を家庭用の交流電力に変換する
太陽電池モジュールで発電した直流電力を家庭で使える交流電力に変換します。落雷から回避するシステムを搭載しています。
409,500円(税込)
※希望小売価格
- 4 モニター**
発電・消費状況をビジュアルで確認する
発電状況・使用状況を視覚的に表示します。様々なモードに切り替えて見ることができます。
126,000円(税込)
※希望小売価格

※実際の製品と異なる場合がございます

〈ご購入サポートプラン〉

各金融機関との提携で頭金など不要 ※但し金融機関の審査あり

初期費用0円 月額14,502円 ※導入費用210万円・金利3%・15年(180回)ローンの場合

その他のサポートプランもご用意しております。先ずはお電話ください。

無料シミュレーションを受けられた方
先着1,000名様に
1,000円分ギフト券プレゼント!!

完全予約制
無料シミュレーション

0120-265-264

詳細は当社ホームページをご覧ください http://www.estate24group.com

各局TV-CM放送中